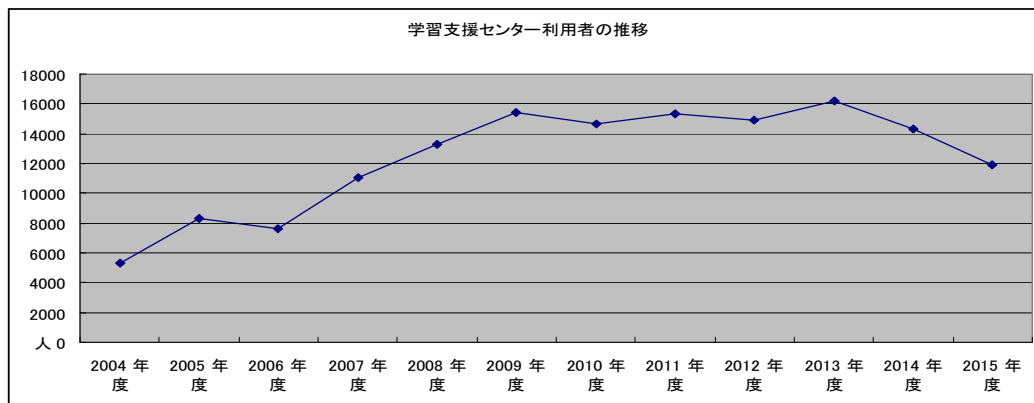


2015年度学習支援センター学生利用に関する報告

1. 利用総括

(1) 総利用者数

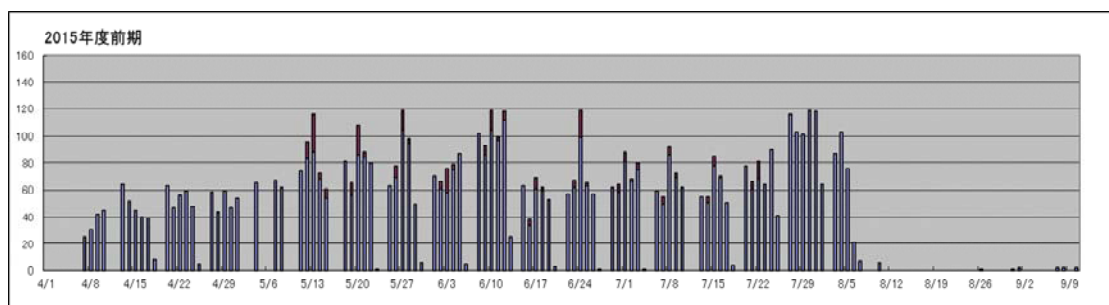
2015年度の総利用者数は12930名で、2013年度に比べ2000名ほど利用者が減少した2014年度よりも、さらに約2000名減少している(1人の学生が1日に複数回の利用があっても1回の利用としている)。2009年度以降、年間利用者数は1万数千人に収束していたが、新教育課程の実施以降、1年生の利用者の減少が影響し、総利用者数の減少につながっている。



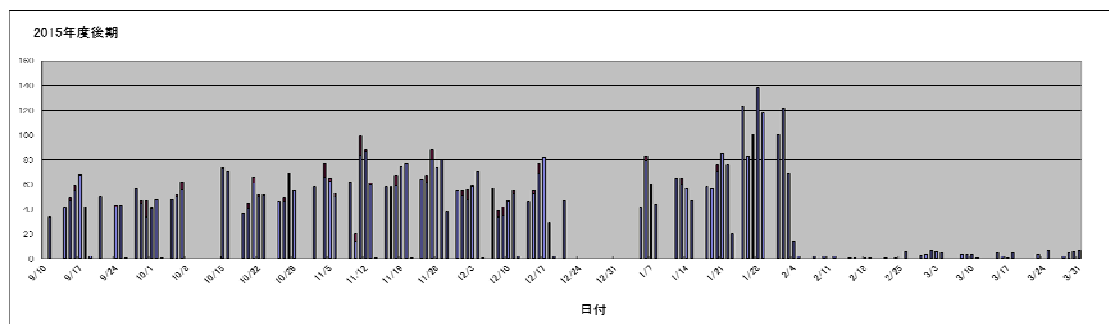
(2) 開室の状況と利用

原則として授業実施日を通常開室とし、試験後の休暇期間中はコアタイム(13時から16時)を設け、特別に時間短縮を行って開室した。授業実施日の平日は10時から20時、土曜日は基本的に12時から14時を開室し、テスト期間前とテスト期間中は時間延長をおこなった。

	開室した日数	学生の利用があった日数	講座を実施した日数 (TOEIC、LEH)
2015年度	257日	232日	76日(102日開講)
2014年度	236日	221日	35日



[前期(4/1~9/10)日別利用者数]



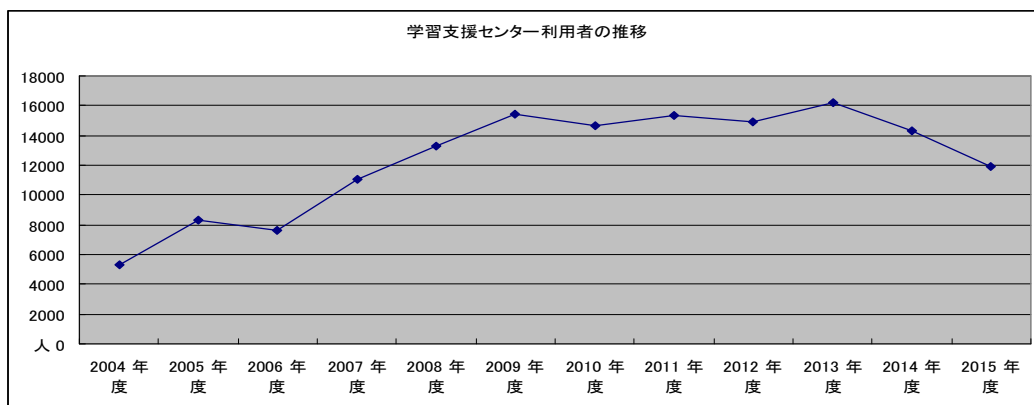
[後期(9/16~3/31)日別利用者数]

2015年度学習支援センター学生利用に関する報告

1. 利用総括

(1) 総利用者数

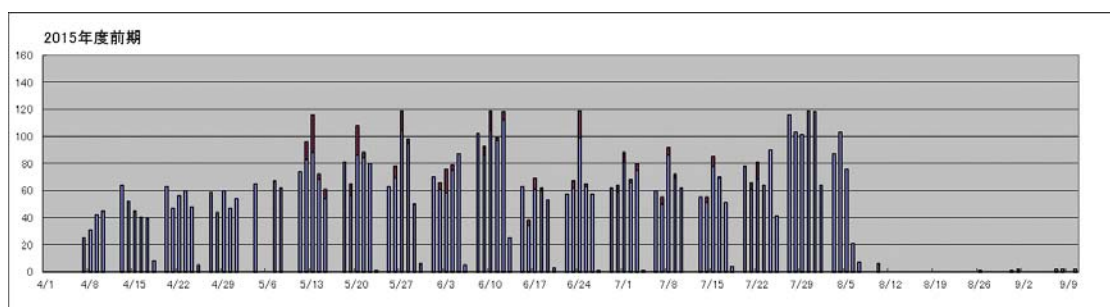
2015年度の総利用者数は12930名で、2013年度に比べ2000名ほど利用者が減少した2014年度よりも、さらに約2000名減少している(1人の学生が1日に複数回の利用があっても1回の利用としている)。2009年度以降、年間利用者数は1万数千人に収束していたが、新教育課程の実施以降、1年生の利用者の減少が影響し、総利用者数の減少につながっている。



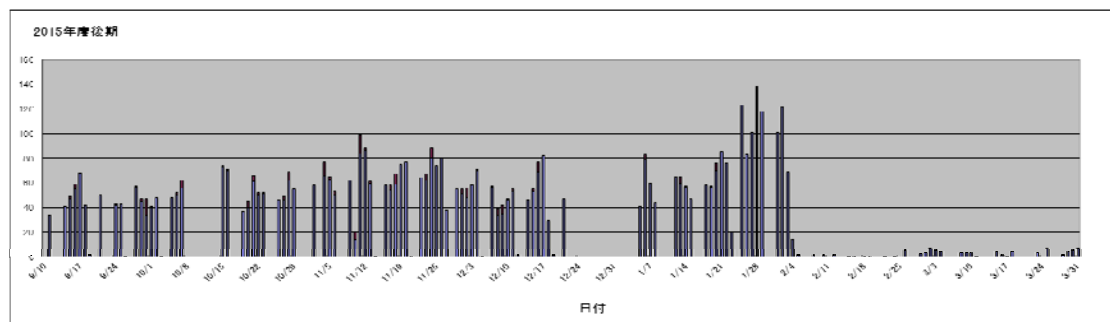
(2) 開室の状況と利用

原則として授業実施日を通常開室とし、試験後の休暇期間中はコアタイム(13時から16時)を設け、特別に時間短縮を行って開室した。授業実施日の平日は10時から20時、土曜日は基本的に12時から14時を開室し、テスト期間前とテスト期間中は時間延長をおこなった。

	開室した日数	学生の利用があった日数	講座を実施した日数 (TOEIC、LEH)
2015年度	257日	232日	76日(102日開講)
2014年度	236日	221日	35日

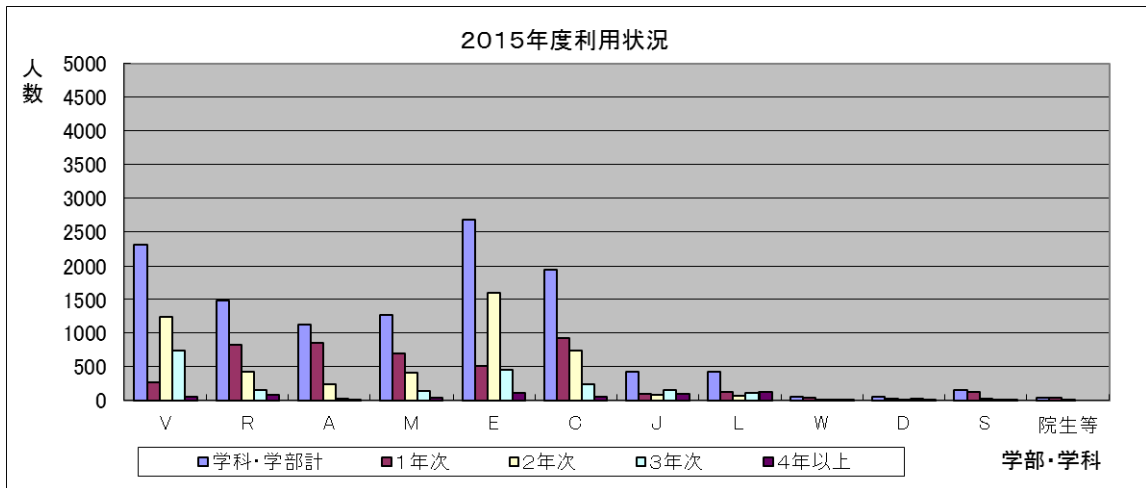


[前期(4/1～9/10)日別利用者数]



[後期(9/16～3/31)日別利用者数]

(3) 学部・学科別利用者数



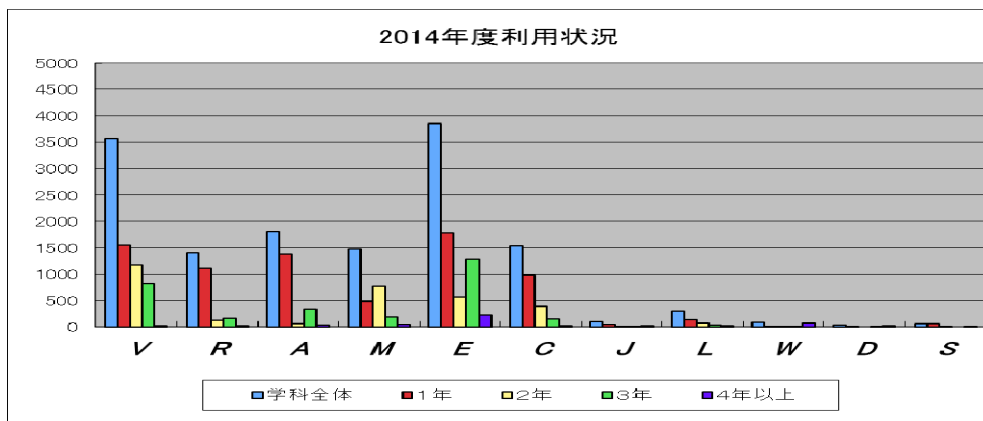
	V	R	A	M	E	C	J	L	W	D	S	院生等	計
1年次	270	828	855	695	517	927	95	126	34	23	117	33	4519
2年次	1240	423	242	411	1602	735	76	60	9	7	20	3	4828
3年次	742	148	16	135	446	232	155	106	7	17	8	0	2012
4年以上	53	84	11	31	108	48	91	127	7	7	3	0	571
合計	2305	1483	1124	1272	2673	1942	417	419	57	54	148	36	11930

[2015年度学科・学年別利用者数]

	V	R	A	M	E	C	J	L	W	D	S	計
1年次	6	2	0	19	0	0	3	104	5	4	1	144
2年次	0	0	0	7	1	4	41	36	0	6	4	99
3年次	4	0	0	11	0	0	12	104	6	14	0	151
4年次	0	0	7	1	0	0	11	34	0	1	0	54
合計	10	2	7	38	1	4	67	278	11	25	5	448

[2015年度学科・学年別講座参加者数]

《参考-2014年度利用者数》



	V	R	A	M	E	C	J	L	W	D	S	他	計
1年	1546	1104	1375	479	1783	985	49	130	7	6	56	2	7522
2年	1165	117	61	769	559	383	13	65	5	0	2	11	3150
3年	821	157	334	179	1288	147	11	37	9	5	0	0	2988
4年以上	28	22	33	52	225	21	22	67	65	22	1	2	560
合計	3560	1400	1803	1479	3855	1536	95	299	86	33	59	15	14220

[2014年度学科・学年別利用者数(のべ)]

(4) 教科別利用状況

	数学	物理	化学	生物	英語	情報処理	専門・一般科目	自習	その他	計
V	9	2	39	10	27	0	36	2152	30	2305
R	554	88	0	0	9	0	196	621	14	1483
A	326	56	0	0	8	0	123	605	5	1124
M	465	46	0	0	38	0	168	545	8	1272
E	586	176	0	0	4	0	90	1764	52	2673
C	423	68	0	0	7	0	173	1102	168	1942
J	0	5	0	0	70	0	5	98	238	417
L	3	0	0	0	296	10	5	97	8	419
W	9	0	0	0	11	0	3	31	3	57
D	1	0	0	0	25	0	11	11	5	54
S	5	0	0	0	8	0	5	108	21	148
他(院)	3	0	0	0	1	0	1	24	7	36
計	2384	441	39	10	504	10	816	7158	559	11930
昨年度	2097	359	84	65	248	0	646	10323	362	14184

- ・支援センターの学生利用はテスト勉強や課題作成のための自習(PC利用含む)の利用が大半を占める。
- ・教科別では理工学部の数学、専門・一般教科での利用が目立っている。
- ・数学は、基礎数学演習「日々の演習」の添削、微積分(演習問題)の学習相談が大半を占め、専門科目はR、A、C科の構造力学、M科は流れ学、熱力学などの利用と、文系学部では一般教科として日本語の添削課題での利用が目立った。
- ・物理は、1年次の物理学と力学での相談件数が大半を占めているが、E科は電気回路、電磁気学を物理にカウントしているためが多くなっている。
- ・英語は一般的な相談以外にTOEIC対策、LEHなどの講座が大半を占め、L部の利用が多い。
- ・その他の内訳として公務員試験、SPI、その他資格試験の対策と学期始めの新生の履修相談などがある。J部は公務員試験の対策、C科は基礎ゼミの演習課題の採点による。学科、ゼミ単位での施設見学はカウントしていない。